



### 9 文学の道

市川市教育委員会が発行した「市川の文学」には、市川で暮らしたことのある北原白秋、幸田露伴、永井荷風などが国近代文学の巨匠をはじめ90名にのぼる作家とその作品が収められています。桜土手公園と手児奈橋公園にはこれら市川ゆかりの文化人のうちから14名の方と万葉の歌を紹介した説明板が設置されており、文学の道と呼ばれています。



### 10 真間川

古くから桜の名所として知られてきた真間川。松戸・鎌ヶ谷・船橋からの流れが集まり、市川市で江戸川と東京湾に注いでいます。全長は8.5km、市内では住宅地を静かに流れる川として親しまれています。鯉なども泳ぐ真間川、季節や時間帯によって実に様々な表情を見せてくれます。



### 11 芳澤ガーデンギャラリー

平成14年3月に芳澤月恵氏から寄贈された土地と庭を利用して整備された「芳澤ガーデンギャラリー」。平成16年9月にオープンしました。美しく手入れされた庭を眺めながら一休みしてみたいかたでしょう。



住所 ●市川市真間5-1-18 ☎047-374-7687 休館日 ●月曜日休館(祝日の場合は翌日)  
 開館 ●午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 入場料 ●企画展開催中は有料となる場合があります

### 12 須和田公園

このあたりの段丘は須和田台と呼ばれ、縄文時代から平安時代に至るまで各時代の遺跡が発見されています。須和田公園は、昭和31年にこの段丘の一部を公園として整備したもので、複合遺跡として有名な千葉県指定史跡須和田遺跡でもあります。桜の名所としても知られる須和田公園、歴史を体感しながら花見なんていかがでしょう。



住所 ●市川市須和田2-34

### 13 郭沫若記念館

中国の著名な文学者で政治家でもあり、日中友好の象徴的存在だった郭沫若は、昭和3年から10年間市川で亡命生活を送っていました。この郭沫若が須和田六所神社近くで家族とともに暮らした旧宅を移築復元し記念館として公開しています。近くの須和田公園には、郭沫若の詩「別須和田」の碑が建てられています。



住所 ●市川市真間5-3-19 ☎047-372-5400 休館日 ●月曜日休館(祝日の場合は翌日)  
 開館 ●午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 入場料 ●無料

### 14 萩の里の眺望

弘法寺裏手の急斜面は、「萩の里」と呼ばれています。ここは、遠方に国分寺や須和田公園の深緑が見渡せたり眼下には住宅地が広がっており、風景を楽しみながら散歩できるスポットです。



### 15 六所神社

大化の改新以後、国府台下総の国府が置かれました。当時、国守には国内の神社を巡拝することが義務づけられていましたが、やがて国府の近くに一国を代表する総社(下総では「六所神社」と呼ばれました)が設けられ、国内巡拝は略されるようになりました。六所神社はこの総社として建てられたものですが、明治19年、国府台一帯が陸軍用地になったため現在の地に遷されました。



住所 ●市川市須和田2-22

- トイレの利用ができます。
- 万葉の歌パネルがあります。
- 道標が設置してあります。
- 文学の道説明板があります。